

# 牛の異常産にご注意ください！

アカバネ病の発生予察のための定点観測を

岐阜県内では令和5年6～11月に計4回実施しました。

**アカバネ病の抗体価の上昇（感染）は県内では認められませんでした。**

## 【アカバネ病とは】

- ・アカバネ病ウイルスによる感染症で、異常産を引き起こす
- ・伝播経路：力、ヌカカにより媒介
- ・流行時期：夏～秋
- ・治療法：なし、ワクチンにより予防することが可能

## 【症状】

- ・成牛（妊娠中の感染）  
夏～翌年の春に死産、  
先天性の奇形を伴った体型異常子牛の分娩、難産
  - ・四肢の湾曲、脊柱の湾曲および斜頸
  - ・内水頭症（大脳欠損症）、頭部の変形
  - ・虚弱、歩行困難～起立不能
- ・子牛（生後感染）  
運動失調、起立障害、後肢麻痺、神経症状等



アカバネ病野外感染例

## 【牛の異常産を引き起す昆虫媒介性疾病は他にも…】

- ・チュウザン病（R5年度九州四国地方で抗体価の上昇が認められました）
  - ・アイノウイルス感染症
  - ・ピートンウイルス感染症
- ▶ 治療法はなく、ワクチンによる予防が可能

## 適切なワクチンの接種を！

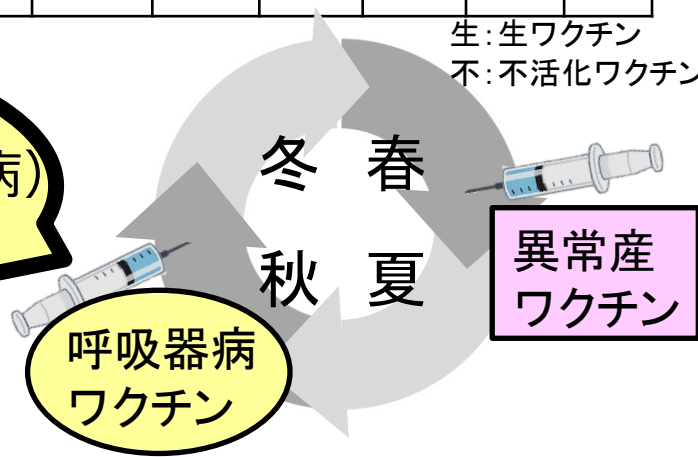
**媒介昆虫が活動し始める前＝春の**ワクチン接種が大切です。  
ワクチン情報は裏面に

# 牛の異常産にご注意ください！ ワクチン情報について

<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>春に接種</b>                      (昆虫が媒介する疾病)                      異常産ワクチン等                 </div>		ワクチン種類					
		異常産 3混	異常産 4混	アカバネ病	イバラキ病	イバラキ流行熱	牛流行熱
疾病	媒介						
アカバネ病	カ、ヌカカ	不	不	生			
チュウザン病		不	不				
アイノウイルス感染症		不	不				
ピートンウイルス感染症	ヌカカ		不				
イバラキ病					生	不	
牛流行熱						不	不

生: 生ワクチン  
不: 不活化ワクチン

**秋に接種**  
(冬季に感染拡大しやすい疾病)  
呼吸器病ワクチン



## ★妊娠牛への生ワクチン接種は要注意！

妊娠牛への生ワクチンの接種は流死産の原因になる可能性があります。さらに、**呼吸器病混合ワクチン**に含まれる**BVD(牛ウイルス性下痢)ウイルス**は妊娠中の感染・生ワクチン接種によりPI牛(持続感染牛)を産出し、農場内に汚染を拡大する恐れがあります。

接種時には**獣医師と飼養者の双方**が**接種牛とワクチン (妊娠牛は不活化)**をしっかりと確認して疾病の発生を予防しましょう。

